

《学力向上宣言》

基礎学力の定着と活用する力の向上 ～使える知識・考える力の習得～

2 わかる授業推進に向けた具体的な方策

(1) 本校の学力状況の傾向と分析

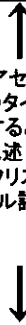
・全国学調、千葉市学力調査の結果から、市、県と比べて全ての教科において、正答率が上回っている。特に、数学科では、県と比べ全国学調では6.0ポイント、千葉市学調では7.2ポイント上回っている。
 ・千葉市学力調査の観点別正答率から、「知識・技能」「思考・判断・表現」では、県を大きく上回る結果となり、基礎知識の向上や思考する力の向上へとつながり、昨年度のアクションプランの成果が見られた。
 ・しかし、「主体的に学習に取り組む態度」の観点では、県との差が小さく、社会・数学・理科では下回る結果となり、次年度への課題となった。

セルフ・アセスメント

(2) 本校児童生徒の伸ばしたい点や改善したい点～学校教育目標や学校研究主題を意識して～

【学校教育目標】 文武両道 質実剛健
 【学校研究主題】 自ら学び、互いに尊重しあう生徒の育成ー主体的・対話的で深い学びを通してー
 ・昨年度同様に、問題の答えを重要視する傾向が強く、そのため、過程を軽視している生徒が多い。課題に対して、根拠をも持って、すじ道を立てて予想し、それを言語化して表現することのできる生徒の育成を継続していく。
 ・今年度の課題とみられる「主体的に取り組む態度」について、これまでの活動を継続しつつ、より体験的に、より対話的に授業改善し、自ら参加する意識の向上を目指す。

セルフ・アセスメント欄は、
 振り返りのタイミングに工夫して活用するとよい。
 ex・自由記述
 ・チェックリスト
 ・スケール評価 等



(3) 学力向上に向けた具体的方策

1 基礎学力の向上にむけての指導
 国語・・・帯学習を言語学習の時間にあてて語彙力の向上を目指す。
 数学・・・単元末の小テストで定着度を図り、定着度の低い生徒には放課後に学習相談を行い、基礎・基本を身に付けさせる。
 理科・・・定期的に小問題のドリル学習を行い、基礎学力の定着を図る。

2 根拠を持って、物事を考える指導
 社会・・・発表する際には、資料から根拠となる部分を見つけさせ、事象の因果関係を意識させられるよう助言する。
 数学・・・解を求めたら、なぜそうなるのかを発表する場面を設定する。
 理科・・・既習事項を活用した応用問題や生活に生かされた科学について考えさせる問題などを取り入れ、活用力・応用力の向上を図る。

3 自分の考えを表現する指導
 国語・・・日頃の授業の中で文を書く機会を増やし、書くことの苦手意識を減らしていく。
 社会・・・毎時間、3分間スピーチを行い、社会現象への関心を高めるとともに、自分なりの考えや聞いて考えたこと、感じたことをまとめるよう習慣づける。
 英語・・・表現の単元に重点をおいて、自己表現能力を高める。
 長文読解の単元において、自作のプリント等を作成し、英語の問いに英語で答える問題を多く取り入れ、能力の向上を図る。

4 主体的に取り組む指導
 国語・・・今まで行っていた「感想を書くこと」の指導において、評価の目安を提示して、初読と学習後の変容や深まりを意識して指導していく。
 社会・・・ギガタブを用いた意見交換から粘り強く課題に取り組むよう指導する。
 レポートのテーマ設定において、より具体化できるように働きかける。
 理科・・・学習と身近にみられる現象や仕組みとを結びつけ、実物や動画を見せる体験をより多く取り入れる。

【全体を通して取り組むこと】
 ・授業の導入に「目標」を提示して、本時の内容を明確にする。
 ・授業の最後に「まとめ」を提示して、本時を振り返り、学習内容の定着を図る。
 ・定期的な小テストやドリル学習を取り入れ、既習事項の定着を図る。
 ・定期考査前に学習相談を実施し、学習内容の振り返りをする。
 ・定期考査前に学習計画を作成する。

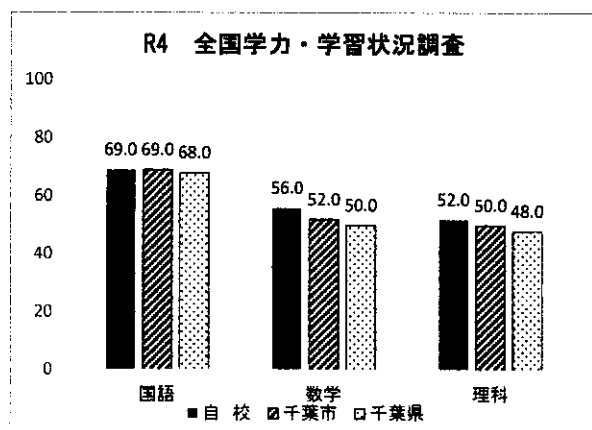
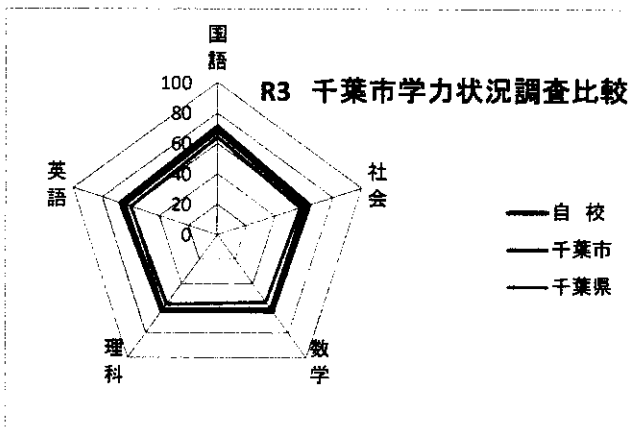
セルフ・アセスメント

令和5年度 千葉市立幕張本郷中学校 学力向上アクションプラン 様式2

1 学力の状況

(1) 全国学力状況調査結果(3年生)

学年	科目	R4		R3		R1	
		自校	県との差	自校	県との差	自校	県との差
3年生	国語	69.0	1.0	67.1	2.1	78.0	6.0
	数学	56.0	6.0	56.3	0.3	60.0	3.0
	理科	52.0	4.0	58.0		59.5	
		69.0		66.0		73.0	
		68.0		65.0		72.0	
						57.0	4.5
						55.0	



(2) 千葉市学力状況調査結果

2年生

学年	科目	R3		R2		H30	
		自校	県との差	自校	県との差	自校	県との差
2年生	国語	70.8	6.7	71.4	5.4	70.1	4.1
	社会	63.6	5.9	59.1	-1.1	64.4	4.2
	数学	62.1	7.2	62.3	5.5	59.5	2.7
		68.2		70.0		69.2	
		64.1		66.0		66.0	
						60.6	-1.0
						58.5	
						60.4	
						58.5	

<令和3年度観点別正答率>

科目	観点	正答率	県正答率	県との差	科目	観点	正答率	県正答率	県との差
		国語	知・技	75.1			64.1	11.0	社会
	思・判・表	69.0	64.1	4.9		思・判・表	55.8	49.5	6.3
	主体的に学習	91.6	90.0	1.6		主体的に学習	81.4	84.1	-2.7

科目	観点	正答率	県正答率	県との差	科目	観点	正答率	県正答率	県との差
		数学	知・技	65.7			58.9	6.8	理科
	思・判・表	53.8	45.6	8.2		思・判・表	60.3	54.8	5.5
	主体的に学習	73.1	75.8	-2.7		主体的に学習	65.2	68.2	-3.0

科目	観点	正答率	県正答率	県との差
		英語	知・技	71.8
	思・判・表	54.0	44.2	9.8
	主体的に学習	81.0	78.0	3.0

